

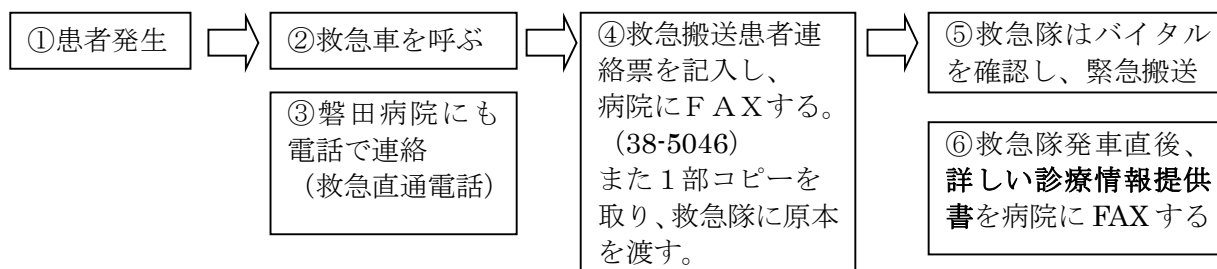
救急搬送患者連絡票（救急車による搬送時）の運用

（ 磐田市立総合病院へ患者さんを救急車にて搬送する場合の手順）

《医療機関・特別養護老人ホーム・老人保健施設から転院搬送となった場合》

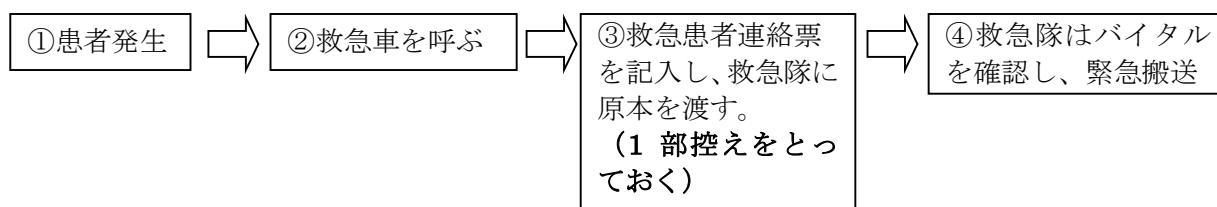
- ① 病院に緊急搬送が必要な患者さんが発生した場合、②救急車を要請するとともに、③磐田病院救急事務（直通電話）に電話をして、どのような患者さんを搬送依頼したか連絡をしてください。④救急搬送患者連絡票を作成し、1部診療所用の控えとしてコピーを取り、磐田病院へもFAX（0538-38-5046）をしてください。この連絡票には封をしないで、原本を救急隊員に渡してください。
- ⑤救急隊は救急車発車直前も可及的速やかにバイタルサインをチェックし、磐田病院救急医と連絡を取りながら処置を行い、病院に搬送する事になります。 ⑥**なお詳しい診療情報提供書を至急磐田病院へFAXでお送りください。**

※特別養護老人ホームでは**医師不在**の休日・祝日・夜間帯の診療情報提供書は不要です。



《上記以外の場合（訪問先の在宅・グループホーム・サ高住・ケアハウスなど）》

- ① 病院に緊急搬送が必要な患者さんが発生した場合、②救急車を要請。③救急搬送患者連絡票を作成し、この連絡票には封をしないで、原本を救急隊員に渡してください。（控えは、カーボン紙、コピー、スマホなどで写真を撮るなどして残してください）
- ④救急隊は救急車発車直前も可及的速やかにバイタルサインをチェックし、磐田病院救急医と連絡を取りながら処置を行い、病院に搬送する事になります。



※なお詳しい診療情報提供書が作成できれば、至急磐田病院にFAX（38-5046）にお送りください。

※救急隊に渡した連絡票は、救急隊が必要事項を書き写し、原本は磐田病院救急に渡してください。

参考資料

意識レベルについて

※患者さんの状態について下表を参照し、意識レベルの欄に記入してください。

J C S (Japan Coma Scale)

Ⅲ. 刺激に対して覚醒しない状態	300. 痛み刺激に反応しない。
	200. 痛み刺激に反応して、手足を動かしたり顔をしかめたりする。
	100. 痛み刺激に対して、払いのける運動をする。
Ⅱ. 刺激がなくなると眠り込む状態	30. 呼びかけを繰り返すとかろうじて開眼する。
	20. 簡単な命令に応じる。
	10. 合目的な運動をするし、言葉も出るが、間違いが多い。
Ⅰ. 刺激がなくても覚醒している状態	3. 自分の名前、生年月日が言えない。
	2. 見当識障害がある。
	1. 清明とはいえない。
	0. 清明。

この他、R（不穏）・I（糞便[失禁](#)）・A（自発性喪失）などの付加情報をつけて、JCS III-200-Iなどと表す。